



今回の見学では、山や木について詳しく知ることができました。山の木は、家族代々管理をしていて、一世代で山を一周管理して次に受け継ぐことを学びました。また、木の樹齢によって、どんな材料にできるのかが変わってくることに、ほそい木の値段が安いことに驚きました。木の皮が真っ直ぐになるには、植林するとき裏と表を気にして植えないといけないことを知りました。天竜の山は八割が杉の木にも関わらず、育つのがよりゆっくりであるヒノキを八割育てていることにも驚きました。

森林組合に見学に行って、木はオークション形式で売られることを初めて知りました。また、人の目で木の種類を三十六項目にも分けることに驚きました。伐採する時期は、水の吸わない寒い時期であること、最近木の値段が下がっているために暑い時期にも切っていることを知りました。木の価値を外国のものよりも高くしなければいけないと思いました。



木材の加工場では、木がどのような段階を踏んで製品になっているのかについて学びました。だんだん加工が進むにつれて軽くなってくることや雨に当たることによってより乾燥が進むことなど、意外なことを知りました。そして、お客様との意思疎通を大切にすることで、木を無駄なく使えると知りました。

